



千葉県内の高度医療・専門医療の中核をなす松戸市立病院では、24時間365日、一貫した医療を提供。隣りには、松戸市医師会が協力して診療にあたる「夜間小児急病センター」があります。

専門的な医療を担う
小児医療センター
千葉県小児医療の中核病院[△]に位置付けられ、千葉県北西部の広域医療圏の中でも、高度で専門的な小児医療を担う「小児医療センター」。小児科はもちろんのこと、小児外科、小児脳神経外科、小児心臓血管外科を備え、小児救急医療や専門性の高い治療が必要となるお子さんへの医療を行っています。

レベルの高さは、近隣市區町村や東京都・埼玉県・茨城県などからも診療に訪れるほど。地域の医療機関とも連携しながら、365日24時間体制で、子どもたちの命と健康を守っています。

地域周産期母子医療センター
平成28年4月、東葛北部保健医療圏で初めて、松戸市立病院が「地域周産期母子医療センター」に認定されました。

周産期とは、妊娠22週から生後7日未満までの時期のこと。分娩リスクの高い妊娠への対応が可能な産婦人科（産科）と、新生児の集中治療を行うNICUを有する新生児科を備えて、ハイリスク分娩や早産など、リスクを伴う出産に積極的に対応しています。

安心して出産ができるよう、医師とスタッフが365日24時間、一貫した医療を提供しています。

松戸市に住むママ・パパの声♪

◆松戸市内は小児科医院やクリニックがとても多くて、助かっています。近くの医院で診てもらえるので安心だし便利。大きなケガをした時は、松戸市立病院で診てもらいました。小児科の先生やスタッフの皆さん、子どもも目線で優しく笑顔で接してくれるので、子どもも嫌がらず診察を受けてくれました。丁寧に診てくれてすごく安心しました。(ひろみん)

◆この間、松戸市立病院のドクターカーが走っているのを見ました。救急を担当するお医者さんを早く到着させて、病院に着く前から医療を開始するためだと聞いて、松戸市の救急体制はすごいと感心しました。(だいすけ)

毎日18時～23時に
診てくれる、
夜間小児急病センター

松戸市立病院の隣りにある「松戸市夜間小児急病センター」では、土曜・日曜・祝日も、毎日18時～23時まで、15才以下を対象に初期内科系疾患の診療を行っています。市内の小児科医や小児の診療に慣れた医師が対応してくれます。センター内で薬も処方してくれるので安心です。

お子さんもママも、心強い！ 優れた小児医療＆周産期医療

松戸市だけのユニークな授業

お子さんの成長とともに、気になってくるのが教育事情。

松戸市のすべての市立小学校と市立中学校では、

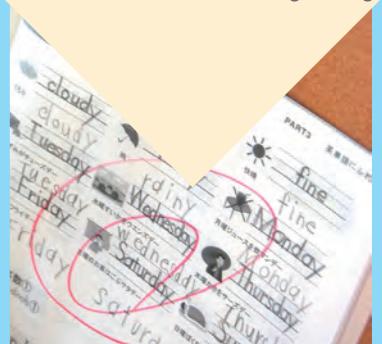
「言語活用科」という独自の授業に取り組んでいます。
「いったいどんな授業なの？」というギモンにお答えします！

英語にふれる・慣れる 英語を使う力を 身につける **英語分野**

伝える力や 理解する力を 身につける 日本語分野

グローバル社会で活躍できる子どもの育成を目指して！

小学校から系統立てた英語学習を進める「英語分野」と、全ての学習の基礎となる思考力・判断力・表現力を養う「日本語分野」の2つの柱により構成されていて、子どもたちの能力を引き出す教育に力を入れています。



英語 分野

日本語 分野

外国人指導者によるオールイングリッシュの授業をはじめ、欧米の母国語教育「Language Arts」を基にした論理的思考力を身につける学習活動を実施しています。小学校では、デジタル教材を使った学習や英語によるコミュニケーションの学習など、さまざまな角度から学びます。

日本語は、すべての授業の基礎。「自分の意見をわかりやすく伝える力」「相手が伝えようとする理解する力」を身につける授業を行います。これから社会に出ていく子どもたちにとって大切な「コミュニケーション力」を育んでいます。

- 豊富なデジタル教材を使って、
わかりやすく、楽しく英語を学べます
- ・あいさつや簡単な自己紹介を学ぶ「ハートで ENGLISH」
- ・400の英単語を学ぶ「Enjoy English」
- ・英語の発音を学ぶ「Enjoy Phonics」

- 6つの分野で大切な日本語の力を身につけます

意見を言おう 自分の意見や考えとその理由や根拠を明確に示す

わかりやすく伝えよう 情報を整理し、場面や状況に応じてわかりやすい説明をする

分析しよう 絵の中の情報を根拠として、自分の考えを構築する

その人になって考えよう 違う視点から物事を見て、文章の主語を変え表現する

話を再現しよう 聞いた話をキーワードを押さえながら文章で再現する

思考力を高めよう (中学校のみ) 論理的・批判的思考力を高めるスキルを身につける

NEWS

英語教育がさらに充実。五年間
英語は、9年間を通した英語教育へ！

松戸市ではこれまで行っていた五年間英語を、平成28年度から9年間を通じた英語教育に拡充。小学校1年生からLAT(外国人指導助手)を活用したアクティブな英語活動や、中学校の内容を先取りした英語学習、さらには松戸市独自の英語教材「ハートでENGLISH」を、小学校の低中学年でも使えるICT教材に編集するなどして、9年間を通じた松戸市独自の小中一貫カリキュラムの充実を図ります。

子育て中で、松戸市PTA連絡協議会の会長もしています。これから時代、英語力や表現力はとても大切。「言語活用科」は、子どもたちが楽しく学べているようです。“学校は地域と共にある”という教育の考え方から、学校と地域の関係づくりも行われている松戸市。良い環境でお子さんを育てられると思いますよ。(まつどうやさしい暮らしラボ市民プロジェクトメンバー・奈賀綾子さん)

